

石野

いしの

地域会議だより

第 64 号

2025

令和 7 年

3 月

今号の特集・わくわく事業の活動紹介

わくわく事業は、地域の皆さんが地域課題の解決に取り組む活動に対して、豊田市が補助金を交付し、支援するものです。石野地域では令和 6 年度、14 団体がわくわく事業に取り組み、それぞれの活動をとおして地域に貢献しています。

①石野地区区長会



②広瀬愛護会



③西中金駅愛護会



④中金めぐり会



⑤石野郷土史研究会



⑥広瀬駅前広場産直部会



⑦わくわくグループ



⑧もりもりあそび



⑨東広瀬地区名鉄三河線廃線敷愛護会



⑩松嶺ささゆり保存会



⑪勘八太鼓 鷹楽



⑫かみたきみのおまつり保存会



⑬フラワーガーデンかんぱち



⑭石野連合自主防災会



支所職員が確認した現場の様子

今年度は支所職員が地域の活性化や課題解決に向けた取り組みをしている活動現場へ出向き、活動内容を確認してきましたので、感想をお知らせします。

団体名	現場確認の感想
①石野地区区長会	本事業で制作した石野カルタは、テレビ等で取り上げられ、知名度も上がりました。未永く遊ばれ、愛されるカルタになると良いと思いました。
②広瀬愛護会	木の剪定など、声を掛け合いながら作業していました。旧三河広瀬駅を大事に守っていきこうと熱心に取り組む思いを感じることができました。
③西中金駅愛護会	カフェには、多く人が訪れていました。若い親子も五平餅を食べに来ていて、地域の憩いの場として親しまれている様子が確認できました。
④中金めぐり会	線路側に伸びてきている竹や雑木の伐採、倒木の撤去等も行っており、大変な重労働です。団体の方たちの廃線敷への思いを感じました。
⑤石野郷土史研究会	冊子の内容について白熱した議論を交わしていました。石野の歴史を残したいという思いで、活発に活動している様子を感じました。
⑥広瀬駅前ひろば産直部会	生き生きと楽しんでいらっしゃる姿が印象的でした。目的である、「高齢者の生きがいづくり」に大きく貢献している活動だと感じました。
⑦わくわくグループ	わくわくグループ代表の号令のもと、こどもたちが種まきを楽しみながら行っていました。寺下町の皆さんの仲の良さが感じられました。
⑧もりもりあそび	こどもたちが知識のないままに被害にあわないように、性について知ってほしいという思いで、熱心に活動されている様子が伺えました。
⑨東広瀬地区名鉄三河線 廃線敷愛護会	廃線敷を歩けるようにして、石野の名所にしたいという思いを胸に、一生懸命取り組まれている姿が印象的でした。
⑩松嶺ささゆり保存会	小学校も見学に訪れていました。団体の皆様のささゆりを大切に、みなさんに見てもらいたいという気持ちが感じられました。
⑪勘八太鼓 鷹楽	同学年のこどもがいる母親たちで集まって結成しており、こどもをみながら楽しく活動されている姿が印象的でした。
⑫かみたきみのおまつり保存会	周囲の地域の方たちが沢山訪れていることが確認できました。親子連れが沢山見えて楽しそうに過ごしていました。
⑬フラワーガーデンかんぱち	コスモスの迷路をつくっており、11月下旬に見頃を迎えました。地域の交流の場として貢献していることが伺えました。
⑭石野連合自主防災会	防災への意識が高く、全員で活発な意見が交わされるのがとても印象深いです。石野地区の防災の要となっただけのことを期待します。

各団体の1年間の活動成果を紹介します。ぜひご覧ください。

3月13日（木）～3月25日（火）石野交流館ロビーに掲示

問合せ先 石野地域会議事務局

豊田市役所 地域振興部 猿投支所 地域振興担当 〒470-0373 豊田市四郷町東畑 70-1
電話 0565-45-1214 F A X 45-4824 電子メール sanage-shisho@city.toyota.aichi.jp